

福祉関係従事者と地域で活動する人材の育成を計画的に推進します。

～大阪市社会福祉研修・情報センター5年間の運営方針～



大阪市は、平成27年度からの5年間、大阪市社会福祉研修・情報センターの指定管理者として、(社福)大阪市社会福祉協議会と太平ビルサービス大阪(株)の共同体を決定しました。社会福祉従事者のやりがいと能力を発揮させ、福祉サービス利用者・家族、近隣住民、地域社会が、いきいきと暮らし、また活動できるよう、研修や情報提供、調査研究を通して、大阪市民の福祉の向上を図ります。本号では、福祉人材の育成及び確保・定着に向けた運営方針について、主に新規や拡充に関して掲載します。

■図1 福祉関係従事者生涯研修体系図～階層ごとに学ぶ教育要素～(大阪市福祉人材養成連絡協議会作成)

階層 求められる役割・能力 役割	共通の領域											
	組織運営・管理 (組織経営管理・メンバーシップ・リーダーシップ・人材育成・業務課題の解決と実践研究)							福祉サービスの				
第5段階▶上級管理者レベル (経営職、トップマネジャー) 法人理念・経営方針の策定 事業計画の策定 組織の財務管理と労務管理の統括 ・自身の施設・事業所のサービスをモニタリングし、運営統括責任者として、組織運営を調整し、自組織を改善・向上させることができる。	制度の構築と運用、改善	経営への応用 経営マネジメント		体制整備		上級管理者としての コミュニケーション技術	トップとしての リーダーシップ	組織経営課題の発見・分析 課題解決のための トップマネジメント	支援方針の検討と実施 職場環境づくり	組織方針の決定と体制環境整備		
第4段階▶管理職レベル 事業ごとの事業計画策定 事業ごとの経営管理 事業ごとの労務管理 リスク管理 ・施設・事業所等の運営・経営環境を理解し、他部門や地域の関係機関と連携・実践する。 ・教育指導者として教育研修プログラムを開発・実施・評価する。	実践と展開 (適切な制度運用)	自職場の理解 経営マネジメント 顧客満足	技術の活用 育成推進		管理者としての コミュニケーション技術	トップを補佐する リーダーシップ	自職場課題と発見分析 サービスの質の管理					
第3段階▶主任・リーダーレベル 管理職の補佐 チームリーダーとしての部下への指導・育成 ・担当業務全体の遂行に責任を持つとともに、問題解決、業務改善を行う。 ・事例研究等を通じて自らのスキルを高める。	制度・規定の理解 人事考課制度		役割と実践	基本の理解と技術の修得	リーダーとしての コミュニケーション技術	チームのリーダーシップ	チーム課題の発見・分析	階層別の業務課題に対応した解決策の検討・推進	研究の意義と進め方	チームによる実践と展開		
第2段階▶中堅レベル ・担当する業務において、一人で(指示なしで)行うことができる。 ・自己啓発に取り組み、自身の課題を解決できる。チームの中での自分の役割を見出し、行動することができる。 ・新任職員、実習生等に対し、助言・指導ができる。	基本の理解	基本の理解	役割と理解		従事者の基本としてのコミュニケーション技術 (基礎と技術)	メンバーシップの確立と実践	業務課題の発見・分析	研究の必要性理解 研究課題の発見と取り組み		利用者・家族の理解に基づくニーズの把握と支援		
第1段階▶新任職員 ・福祉の基本的な理念や法令等を理解し、指導・教育を受けながら、基本的な実践を安全に行うことができる。 ・法人・施設・事業所等の理念を理解するとともに、社会人としてのルール・マナー等を理解・実践する。					基本の理解	必要の理解				利用者・家族の理解と支援		
教育内容	労務の理解と管理の実践	人事制度の理解と管理の実践	財務の理解と経営への応用	エルダー・チューター養成 ファシリテーター養成	部下の育成と能力開発 (コーチング・スーパービジョン)	コミュニケーションの技術	メンバーシップの理解と実践	リーダーシップの理解と実践	業務課題の発見と分析 (職場の課題形成)	業務課題への対応 (職場の問題解決)	実践研究の推進	福祉サービスの倫理と基本理念 (尊厳の保持・権利擁護)
	組織運営管理			人材育成		メンバーシップ・リーダーシップ		業務課題の解決と実践			福祉サービス	

福祉人材の育成

当センターでは、研修を「福祉専門職」「地域福祉活動者」「市民」を対象に実施していきます。

●生涯にわたるキャリアアップの研修を実施

福祉専門職については、分野・領域・職種を問わず、全領域に共通する基本

的な知識・技術・倫理に関わる研修を中心に実施していきます。具体的には、「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」(図1)に基づき、基本となる5領域(福祉サービスの倫理と基本理念、組織運営管理、リスクマネジメント、メンタルヘルス・セルフマネジメント、多職種連携・地域協働・地域課題の解決に向けた視点)の教育内容に対応した研修を実施するとともに、キャリアパス対応生涯研修課程を4階層(初任者、中堅職員、チー



キャリアパス対応生涯研修(管理職員コース)の風景

ムリーダー、管理職員)を対象に実施します。

●効率的・効果的な研修実施体制を目指して

福祉人材を育成する団体は、当センターをはじめ、職能団体や社会福祉施設連盟等が取り組んでいます。各研修実施団体の研修企画担当者が集まり、実施時期や内容、育成に関する役割分担などの情報共有を行い、福祉専門職のみなさんに効果的な研修情報の提供体制づくりをめざします。

●離職者の復職支援研修の実施

福祉人材の確保の観点から、福祉に関する資格を持っており、過去に福祉業務に就いていたが、現在諸事情で業務に就いていない人、資格を取得したが就職していない人などを対象に、復職や就職を希望する人がよりスムーズに就業につながる研修を企画実施します。また、大阪福祉人材支援センター(人材確保グループ)や大阪市社会事業施設協議会等との連携も図っていきます。

●キャリアデザインを支援するノートの発行

福祉に携わる専門職としてワークキャリアを考える「ワークシート」や、研修受講が記録できる「受講履歴シート」、修了証等を保管するファイルなどが入った「キャリアデザインノート(受講



キャリアデザイン啓発パンフレット

倫理と基本理念	メンタルヘルス・セルフマネジメント		多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて		リスクマネジメント	
サービスの質の管理と環境整備	自己目標の設定と評価	体制整備 対策の実践	職場管理 要因分析 環境改善	実践の点検とマネジメント	方針の決定 制度の構築と運用、改善	予防と管理 対策の推進
		健康改善			行政と他機関との連携 方針の決定 体制整備	
ニーズに基づいた福祉サービスのチームによる展開	自己目標の設定と管理	自己管理 チーム管理	職場内の多職種連携協働の推進	他組織や地域の関係機関との多職種連携・協働の理解と実践	苦情への対応 (実践を通じた解決の推進)	リスクへの気づきと対応 リスクを生まない環境づくり
		自己理解 他者理解			住民、地域社会、ボランティア等との連携協働の実践 地域課題の発見	
福祉サービスの実践と質の向上 住民利用者の満足	職業理解と自己目標の重要性	自己理解	職場内の多職種連携協働の理解(チーム実践・仲間との連携)	地域との連携・協働の重要性	リスクの理解	苦情の理解
		健康改善の基本と実践			他組織や地域の専門職との連携・協働専門性の理解(ネットワーク構築、行政との連携等)	
福祉サービスの基礎と実践	キャリアデザイン メンタルヘルス ストレスマネジメント	モチベーションマネジメント	組織の中での多職種連携協働(専門性の理解・チーム実践等)	他地域におけるインフォーマルサービスとの連携協働(住民、地域社会、ボランティア等)	利用者や地域のリスクへの対応	苦情への対応
		身体への健康			コンプライアンスの理解と順守	
基本理念	セルフマネジメント(自己管理と環境づくり)		多職種・地域協働		リスクマネジメント	

履歴管理手帳)を発行し、“どんな福祉専門職でありたいか”“どのような研修を受講してきたか”を記録し、振り返ること、これからのキャリア形成をサポートします。

このノートには、福祉関係従事者生涯研修体系図(図1)もあるので、現在の自分の立場で求められる知識や技術は習得できているかの判断基準にもなります。さらに、上司や先輩として、部下や後輩へアドバイスする時の参考にもなります。

また、キャリアデザインの重要性を記載したパンフレットも作成しているので、専門職個人及び施設や事業所等組織への啓発にも力を入れていきます。

●地域福祉活動者の育成支援

地域の福祉力を高め、住民が主体的に地域福祉課題の解決に取り組めるよう支援する地域福祉推進者研修について、これから活動する人向けの基礎的な内容や、現在活動している人向けの実践的な内容など、階層別の研修プログラムの充実と、大阪市内の地域福祉活動者が共通して持つべき知識・技術・倫理の内容について考える「(仮)地域福祉活動者研修検討会」を立ち上げ、理論と実践に基づいた研修体系の構築に取り組みます。

●市民向け研修について

全国的に先駆的であったり国際的な社会福祉に関するテーマによる講演会やセミナーの開催や、「介護実習室」の設備を活用した、介護・介助等に関する研修を実施します。

この他にも、区域等の実情に応じた福祉ニーズに関する研修を区民センター等の施設を活用して開催するなど、アウトリーチ型研修にも取り組んでいきます。



介護実習講座(入門コース)の風景

福祉情報の発信

市域にとどまらず、各区の福祉サービス・相談機関・活動団体等の情報等を発信する“情報センター”機能の充実をすすめます。

1階のエントランスのスペースを活用し、福祉用具や介護用品、防災グッズ等を“見て、触れて、試せる”常設や期間限定の企画運営や、大阪市内の福祉制度やサービスに関する情報を集積し提供する福祉情報ステーションづくり等の充実に努めます。

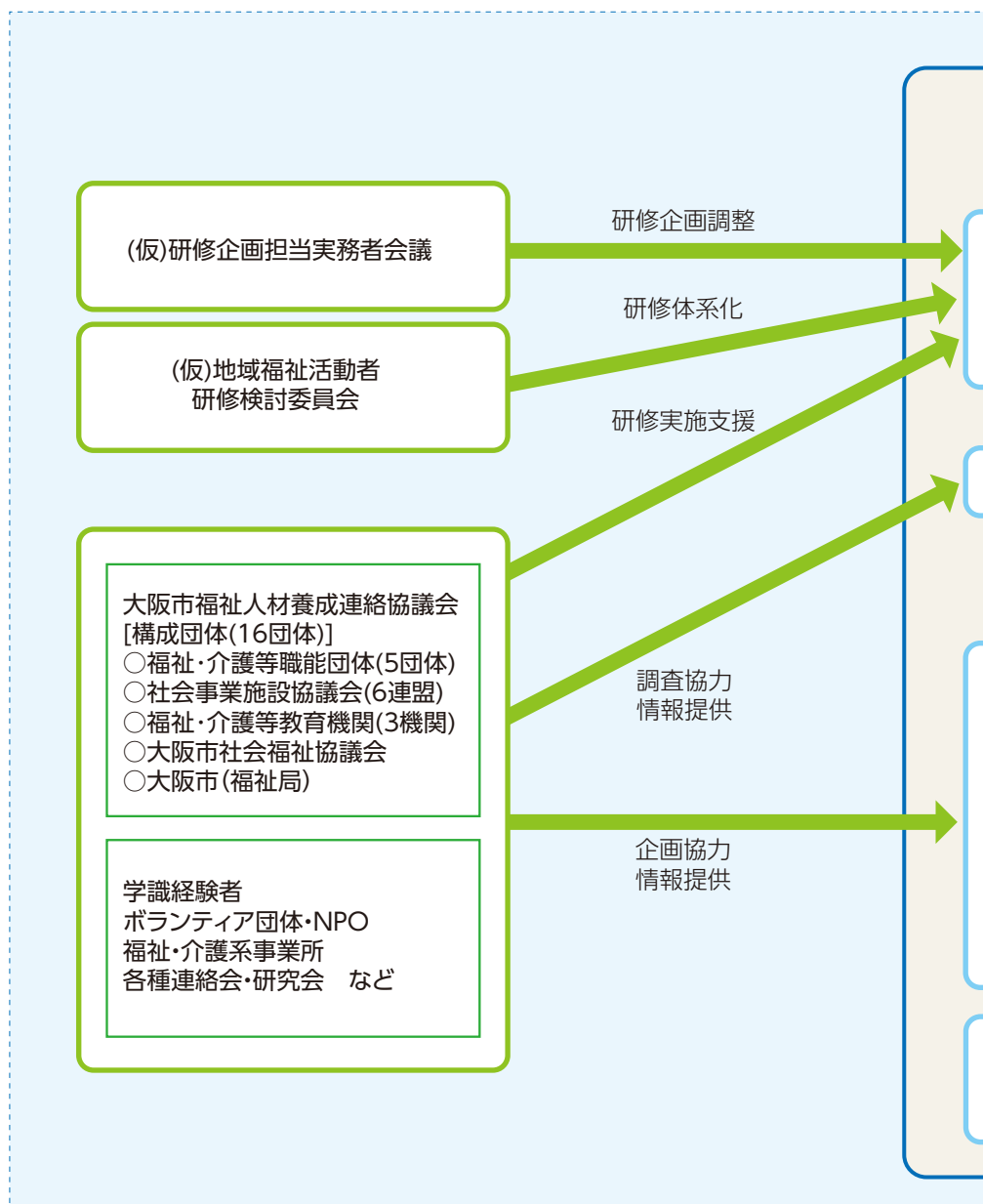
また、当センターで所蔵する明治時代以降を中心とした大阪の社会事業に関する貴重資料等について保存・活用



1階エントランスの展示(自助具展)の風景

し、将来に向けて伝達するアーカイブ機能を充実させるため、学識者等による検討委員会を設置するとともに、企画展示や研修事業と連動しながら、これからの大阪の社会福祉の推進に取り組みます。

■大阪市社会福祉研修・情報センターの機能と役割(イメージ)



調査研究事業

組織における福祉人材育成に関する調査活動を行います。

福祉専門職のキャリアパスの構築と支援について、大阪市福祉人材養成連絡協議会とともに、これまでは生涯研修体系図を作成し、キャリアデザインノート(受講履歴管理手帳)の作成など、職員個人による自律的なキャリア形成の支援を行ってきましたが、27年度以降は、大阪市社会事業施設協議会や介護保険関係事業所、職能団体等の協力を得ながら、福祉職員の確保・育成・定着等の現状と課題についての調査を実施し、その結果の分析と公開を通して福祉

人材の確保・育成策を支援する調査研究事業に取り組みます。

3月2日に当センターの運営委員会が開催され、職員から運営委員にこれから5年間の事業運営について提案しました。運営委員からの主なコメントは次のとおりです。

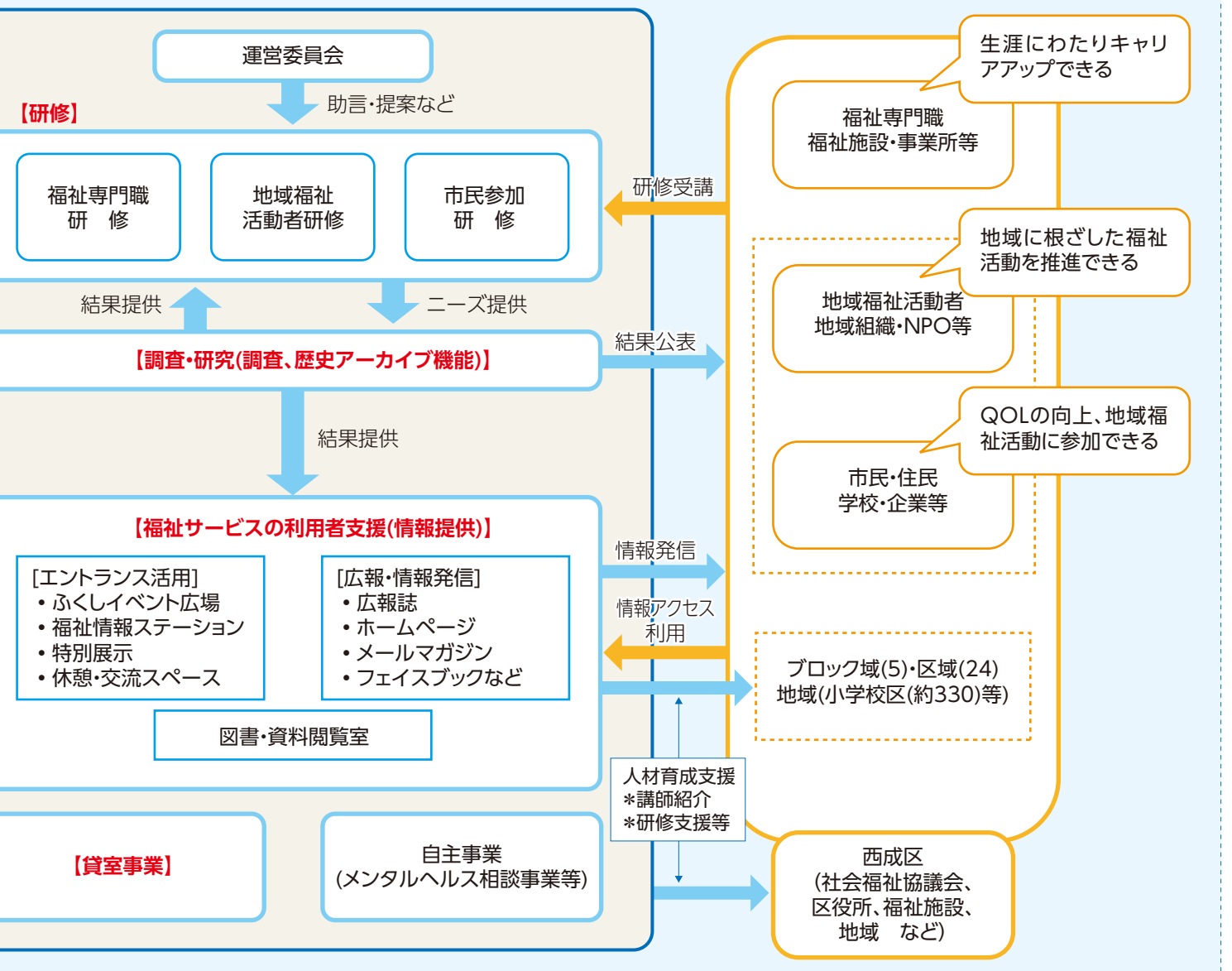
- 福祉人材の確保に関する事業等も、大阪市福祉人材養成連絡協議会や大阪福祉人材支援センター(人材確保グループ)等との連携や、当センターの調査研究事業とも連動して、戦略的に事業立案してほしい
- 昨今、国で議論されている、社会福祉法人のあり方検討の流れからも、主体性をもった社会福祉法人の運営のあり方などの研修も必要では

ないか。

- 例えばファンドレイジングについてなど、先駆的で、現代社会の一步先にあるテーマに関する研修にも取り組むべきではないかなど。

当センターでは、各種機関・団体が有する専門性や得意領域を出し合うことで、人材育成や確保・定着の相乗効果が高まる仕組みづくりに取り組み、研修事業や調査研究、情報提供・発信、貸室事業を通して、市民の福祉の向上と福祉の専門職や活動者の支援に取り組んでいきます。

〈大阪市社会福祉研修・情報センター〉



平成27年度 大阪市社会福祉研修・情報センター 研修事業 研修計画一覧

具体的な内容については各施設への案内やホームページ (<http://www.wel-osaka.jp/>) に掲載します。

種別	研修名	受講対象者	内容(ねらい)	実施回数(日数)	実施時期(予定)
キャリアパス対応生涯研修	初任者コース	入職2年以内の職員	サービス提供者、チームの一員としての基本を習得し、福祉職員としてのキャリアアップの方向を示唆する	1回(3日間)	9月
	中堅職員コース	入職後概ね3年～5年程度の職員	中堅職員としての役割を遂行するための基本を習得し、中堅職員としてのキャリアアップの方向を示唆する	1回(3日間)	8月
	チームリーダーコース	・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任・係長等に就いている職員	チームリーダー等の役割を遂行するための基本を習得し、管理者としてのキャリアアップの方向を示唆する	1回(3日間)	10月
	管理職員コース	社会福祉施設に勤務する施設長等運営統括責任者、小規模事業管理者、部門管理者等に就いている職員	管理者としての役割を遂行するための基本を習得し、管理者としてのキャリアアップの方向を示唆する	1回(2日間)	11月
福祉サービスの倫理と基本理念「福祉の基本と対人援助」		社会福祉専門職	「福祉は誰のために誰がするもの？」福祉従事者に求められる基本視点、知識を学ぶことにより専門職としての役割行動を理解し、利用者へのサービス向上を図る	1回(2日間)	8月
セルフマネジメント研修	一般職員対象	社会福祉専門職	メンタル不全のメカニズムを理解し、良好な人間関係を保持しながら業務を遂行する知識や技術を学び、バーンアウト(燃え尽き症候群)を防ぐ	1回(1日間)	7月
	主任・リーダー職員対象	社会福祉専門職	職場の要である主任・リーダー職員として、ストレスマネジメントを学び、自身のメンタルヘルスだけでなく、部下へのメンタルサポートの知識と技術を習得し、良質なサービスを提供できるチームづくりを目指す	1回(2日間)	10月
	管理職員対象	社会福祉専門職	管理職としてバーンアウト(燃え尽き症候群)や離職者を減らす対策を考え、より良い福祉サービスが提供できる組織とそのための労働環境を作るポイントについて学ぶ	1回(1日間)	1月
	福祉・介護職員の癒やしのボディワーク	社会福祉専門職	ストレスの有無や自分の性格・行動の傾向を知り、肩こりや腰痛、その他の緊張との向き合い方と緩和する方法を学ぶ	1回(1日間)	6月
リスクマネジメント研修	一般職員対象	社会福祉専門職	リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、コンプライアンス(法令遵守)など具体的に気をつける点について学ぶ	1回(1日間)	8月
	主任・リーダー職員対象	社会福祉専門職	リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない環境づくりを学び、普段の取り組みを演習で振り返りながら、明日からできるリスクマネジメントを学ぶ	1回(1日間)	10月
	管理職員対象(新)	社会福祉専門職	管理職として組織内のリスクマネジメント、コンプライアンス(法令遵守)に関する制度の運用と推進、対策を考え、より良い福祉サービスが提供できる組織づくりとそのための環境を作るポイントについて学ぶ	1回(1日間)	6月
	クレーム対応技術	社会福祉専門職	事業者と利用者の信頼関係を構築するため、苦情対応の知識と技術を身につけ、適切に解決していく方法を習得する	1回(1日間)	8月
組織運営管理研修	労務管理研修	施設長等管理者、労務管理担当者等	労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用形態における労務管理(労働時間・休日・労働契約や社会保険・労働保険等)について学ぶ	1回(2日間)	7月
	財務管理研修	施設長等管理者労務管理担当者等	社会福祉法人新会計基準に基づく財務管理について学ぶ	1回(2日間)	10月
	職場研修担当者養成研修	法人・施設の職場研修担当者、または従事予定者	各法人・施設が、より良いサービスを提供するために職員の資質向上をめざして取り組む「職場研修」の推進のため、その研修担当者の養成を図る	1回(3日間)	6月
	OJT推進研修	社会福祉専門職	職場研修の中で最も重要なOJTについて、より推進を図る知識・技術の向上を図る	1回(2日間)	2月～3月
福祉専門職研修	電話応対・接遇マナー	社会福祉専門職	職場のイメージは、電話応対と接遇の良しあしに大きく左右されるため、電話や窓口業務に携わる人を対象に好感をもたれる応対をロールプレイを交えて学ぶ	1回(1日間)	4月
	相談面接の技術(基礎編)	社会福祉専門職	援助関係の本質を知り、面接の技術を磨き、対人援助活動をよりスムーズに行うために、的確で好感をもたれるスキルを演習を交えて実践的に学ぶ	1回(1日間)	5月
	相談面接の技術(応用編)	社会福祉専門職	福祉現場の対人援助職にとつて必要な倫理や、主要な機能である「面接」に関する知識・技術について再度確認し、実践的な能力を高めることにより、実際の相談面接場面における資質の向上を図る	1回(2日間)	12月
	コミュニケーション	社会福祉専門職	利用者や職場の同僚・上司との関わり方、家族との関係など人との付き合い方の効果的な方法・技術を楽しく身につける	1回(1日間)	11月
	アサーティブコミュニケーション	社会福祉専門職	自分も相手も尊重した自己表現の方法である「アサーティブネス」について理解し、誠実に率直に対等に、相手と向きあえるコミュニケーションの技術を体験的に学ぶ	1回(1日間)	5月
	ファシリテーションスキル	社会福祉専門職	意見が出ない、論点がずれる、いつも同じ人ばかりが発言する、何も決まらず時間だけ費やす、そんな会議の仕方を変え、場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学ぶ	1回(1日間)	6月
	プレゼンテーション	社会福祉専門職	プレゼンテーションの基礎を実践的に学ぶ	1回(2日間)	9月
多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて「地域を基盤としたソーシャルワーク研修」【新】		社会福祉専門職	地域を基盤とした社会福祉援助の理念、総合相談、地域包括ケア、個別支援の基本的視点、ネットワークと協働、地域支援等を学ぶ	1回(2日間)	10月
社会福祉セミナー	社会福祉施設職員の地域福祉実践講座	社会福祉専門職	社会福祉従事者が、地域の中で生きる利用者への支援という視点を持ち、具体的な実践手法を構築していくことを目的とする	1回(5日間)	7月～12月
	スーパーバイザー養成講座	社会福祉専門職	社会福祉実践の質的向上および現場職員の資質の向上をめざして、福祉の現場でスーパービジョンを実践できる人材を養成する	1回(5日間)	7月～11月
	スーパーバイザー養成講座修了者フォローアップ研修	平成23・24・25・26・27年度スーパーバイザー養成講座修了者	スーパーバイザー養成講座修了者の実践状況を振り返り、研修の効果を検証するとともに、スーパーバイザーとしての資質の更なる向上を目的とする	1回(1日間)	3月
	コミュニティソーシャルワーク実践講座	社会福祉専門職	地域を基盤としたソーシャルワークを実践するため、地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、両機能を連携させた地域福祉推進の方法論を習得することを目的とする	1回(5日間)	8月～1月
精神障がいのある人と家族への支援実践講座		社会福祉専門職	高齢者支援をする福祉従事者が、精神障がいをもつ人と家族を支援するため基本的な視点や支援方法について学び、精神障がい者への支援の実践力の向上を図る	1回(5日間)	9月～12月
障がい福祉関係研修	障がい福祉関係研修	社会福祉専門職	障がい児・者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ	未定	
	発達障がいについて正しく理解し、支援の視点と対応	社会福祉専門職	発達障がいについて正しく理解し、支援の視点と対応を学ぶ	1回(1日間)	1月
	パーソナリティ障がいの理解と対応	社会福祉専門職	病気の正しい知識を得て、本人への対応の仕方を見直し、適切な支援の方法を身につける	1回(1日間)	12月
高齢福祉関係研修		社会福祉専門職	高齢者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ	未定	
認知症介護研修	認知症介護実践者研修	認知症介護職員及びその指導的立場にある方。他受講要件あり	認知症のある人の能力に応じた自立生活を支援できる実践的な認知症介護の知識と技術を身につけることを目的とする	6回(各6日間)	6月～2月
	認知症介護実践リーダー研修	認知症介護実践者研修修了者。他受講要件あり	認知症介護の理念を、自職場において展開し、実践リーダーとして職員を支援・指導し、地域のネットワーク作りの視点をもって認知症介護の推進役となるリーダーを養成する	1回(講義9日間、実習3日間)	8月～10月
	認知症介護実践リーダー研修修了者フォローアップ研修	認知症介護実践リーダー研修修了者	リーダー研修修了者に対して、知識やスキルを高めるための専門的なフォローアップを行うことにより、大阪市全体の認知症ケア対応力の向上を目指す	2回(2日間)	未定
	地域密着型サービス認知症介護研修	地域密着型サービス事業所の開設者、管理者、及び計画作成担当者	認知症介護を提供する地域密着型サービス事業所の開設者、管理者、及び計画作成担当者がそれぞれ必要な知識・技術を身につけることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る	3コース×2回	9月～3月
介護職員研修	初任者向け介護技術研修(移動・排泄・食事)【新】	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員で、概ね業務について3年未満の者(復帰後3年未満を含む)	介護職員初任者等を対象に、移動、排せつ、食事の介護に関する技術の基本を学ぶ	1回(3日間)	6月
	ステップアップ介護技術研修(移動・排泄・食事)【新】	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員で、概ね業務について3年未満の者(復帰後3年未満を含む)	介護職員経験3年以上の中堅職員等を対象に、移動、排せつ、食事の介護に関する技術の応用を学ぶ	1回(3日間)	7月
	医療知識①[高齢者に必要な医学の基礎知識]	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	高齢者介護に必要な医療知識を学び、介護の質的向上を図る	1回(1日間)	8月
医療知識②[感染症について～知識と予防～]		大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	高齢者介護に必要な医療知識を学び、介護の質的向上を図る	1回(1日間)	12月

種別	研修名	受講対象者	内容(わらい)	実施回数(日数)	実施時期(予定)	
福祉専門職研修	介護職の倫理編「利用者の尊厳を考える」(新)	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	介護職員に求められる倫理・価値について学び、介護の質的向上を図る	1回(1日間)	6月	
	介護職援助の基本編「家族支援」(新)	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	介護職員に求められる援助の基本について、本研修では利用者本人だけでなく、家族等へのアプローチの重要性等を学ぶ	1回(1日間)	10月	
	介護職援助のノウハウ編「アクティビティ」	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	介護職員に求められる援助技術の基本を学び、介護の質的向上を図る。本研修ではレクリエーション技術を含むアクティビティを通じた、QOLの向上方法を学ぶ	1回(1日間)	8月	
	訪問介護サービス提供責任者研修	訪問介護サービス提供責任者	介護保険制度の現状を理解するとともに、それぞれの役割や倫理、スタッフを支える視点等について学び、事例検討を通じ、支援の力量を高める	1回(2日間)	2月	
	介護サービス主任・リーダー研修	高齢者施設等で主任・リーダーとして従事している方		1回(2日間)	1月	
	介護福祉士有資格者研修(新)	介護福祉士資格を有し、現在離職中又は職に就いたことがなく、今後、復職や就職を考えている者	介護福祉士として求められる理念や基礎知識の再確認、介護現場の最新状況等を学び、介護福祉士として復職(就職)を支援する目的で開催	1回(3日間)	未定	
	保育士有資格者研修(新)	保育士資格を有し、現在離職中又は職に就いたことがなく、今後、復職や就職を考えている者	保育士として求められる理念や基礎知識の再確認、保育現場の最新状況等を学び、保育士として復職(就職)を支援する目的で開催	1回(3日間)	未定	
	社会福祉施設職員人権研修	大阪市社会事業施設協議会施設職員	社会福祉施設の職員として人権問題を正しく理解し、人権意識の向上を図る	4回(4日間)	8月～2月	
	福祉人材養成連絡協議会会員提供講座	社会福祉従事者	福祉人材養成連絡協議会の会員による提供講座。テーマはそのつど検討して実施	1回(1日間)	未定	
	地域福祉推進者研修	地域福祉活動者講座入門編(新)	市内在住、在勤、在学の方	地域福祉の推進に必要な知識等の基礎を学ぶ	1回(5日間)	6月～9月
地域福祉活動者講座実践編(新)		市内在住、在勤、在学の方	地域福祉の推進に必要な実践法の基礎を学ぶ	1回(4日間)	7月～8月	
地域福祉推進リーダー養成塾		福祉従事者で地域福祉活動を実践・展開しようとする人や現在活動している市民	福祉コミュニティづくりにおけるネットワークの構築とその運営方法を学び、地域福祉を推進する人材を養成することを目的とする	1回(5日間)	9月～1月	
地域福祉推進リーダー養成塾フォローアップ研修		地域福祉推進リーダー養成塾修了者	地域福祉推進リーダー養成塾修了者の実践状況を振り返りながら、研修の効果を検証し、これからの地域福祉の推進につなげる	1回(1日間)	3月末	
市民参加研修	社会福祉講演会・特別セミナー	市民、社会福祉関係者等	社会福祉の動向や福祉実践等をテーマとし、市民啓発及び福祉関係職員の資質向上に寄与することを目的とする	3回(3日間)	9月～2月	
	社会福祉史の市民講座	市内在住、在勤、在学の方	社会問題や生活課題の解決に先駆的に取り組んだ大阪の社会事業家の生き様、実践、開拓精神を学び、これからの大阪らしい社会福祉の推進を目指す	3回(3日間)	9月～2月	
	市民のための認知症介護講演会	市内在住、在勤、在学の方	認知症に関する医療的知識及びケアについて学ぶ	1回(1日間)	11月	
	介護実習講座	入門コース	市内在住、在勤、在学の方	介護を初めて行う方に、介護への認識・興味を深めてもらうため、基本となる簡単な介護を体験する	8回(各3日間)	4月～2月
		介護者のための調理講座	市内在住、在勤、在学の方	介護者のために短時間で、簡単にできる調理法や介護食について調理実習を行いながら学ぶ	3回(各2日間)	未定
		ステップアップ(応用)テーマ別コース	入門コースを修了した方	介護技術・知識の復習や向上をめざしてテーマごとに学習する(テーマ:移動、排泄、食事介助、衣服・シーツ交換、応急手当、口腔ケア等)	4回(各2日間)	6月、9月、12月、2月
		おさらい介護教室(新)	介護実習講座修了者等	介護実習講座で学んだ内容を復習することで、介護技術や地域の向上を図る	未定	未定
	自助具製作体験講座	市内在住、在勤、在学の方	自助具への理解を深め、その普及と自助具製作に関わる人材育成を目的とする	2回(2日間)	2月	

講座案内

大阪市内の社会福祉関係事業所に勤務する方

①アサーティブコミュニケーション

アサーティブな表現とは、自分も相手も大切にしようとするコミュニケーションです。社会人として、また組織運営においても、コミュニケーション力の向上は人材育成の基本となるテーマの一つです。感情労働ともいえる福祉職場で、専門職として、自分自身のコミュニケーションの傾向を理解し、利用者や家族、職場の上司・同僚・部下などとの良好な人間関係を築けるコミュニケーション技術を学びませんか。

- 日 時…5月22日(金)
午前10時～午後4時30分
- 講 師…桑田道子(女性ライフサイクル研究所Felien)
- 定 員…50人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室(5階)
- 受講料…3,000円
- 申込締切…4月22日(水)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp>)の申込フォームに入力するか、ファックスでお申し込みください
- 決定通知…5月上旬頃に事業所宛に受講証を送付します

大阪市内の社会福祉関係事業所に勤務する方

②ファシリテーション講座

「明日からの会議を変える!」

会議やミーティング等の場で、発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、合意形成や相互理解をサポートすることにより、組織や参加者は活性化します。「意見が出ない」「論点がずれる」「何も決まらず時間だけ費やす」など、会議の運営でそんな悩みはありませんか?本研修では、会議の場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を身につけます。

- 日 時…6月24日(水)
午前10時～午後4時30分
- 講 師…津村薫(女性ライフサイクル研究所Felien)
- 定 員…50人(先着順)
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室(5階)
- 受講料…3,000円
- 申込締切…5月25日(月)
- 申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp>)の申込フォームに入力するか、ファックスでお申し込みください
- 決定通知…6月上旬頃に事業所宛に受講証を送付します

どなたでも

③第9期市民後見人養成講座 受講事前オリエンテーション

判断能力が十分でない人の権利を守る成年後見制度で、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう身近な立場で支援する「市民後見人」を養成するため、社会貢献への意欲と熱意のある市民を対象に「市民後見人養成講座」を行います。今年の7月から本講座の受講申込みのため、事業の趣旨を理解するための折込オリエンテーションを開催します。

- 日 時…第1回:5月27日(水)
第2回:5月30日(土)
いずれも午後2時～4時
※どちらかの日程を選んでください
- 内 容…成年後見制度の概要と市民後見人の役割、市民後見人養成講座の受講について
- 会 場…大阪市社会福祉研修・情報センター 5階大会議室
- 定 員…各回100人(先着順)
- 参加費…無料
- 申込締切…5月23日(土)消印有効
- 申込方法…住所、名前、年齢、電話番号、参加希望日(第1・2回のいずれか)を記載のうえ、ハガキ・FAX・メール(yousei@shakyo-osaka.jp)のいずれかで申込ください。
- 決定通知…参加証をお送りします

◆上記講座の申込・問合せ先

- ①②大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 <http://www.wel-osaka.jp>
- ③大阪市成年後見支援センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 3階 ☎06-4392-8282 FAX06-4392-8900

申込記載事項

【必須項目】①研修(講演会)名、②名前(ふりがな)、③年齢、④連絡先住所(〒)、⑤電話、ファックス番号、⑥勤務先(所属)
※必須項目以外にも、必要な項目がある場合がありますので、チラシ等で確認ください。

福祉の歴史散歩

社会福祉史の市民講座 特別企画レポート②
石井十次没後100年企画



現代に息づく石井十次の思想から、 今日の社会福祉実践を考える

2014年12月に、石井十次没後100年企画として「現代に息づく石井十次の思想から、今日の福祉課題に立ち向かう社会福祉実践を語る」と題し講演会等を開催。本号では、前号の基調講演の報告に続き、没後100年をどう総括するのか。石井記念友愛社(以下、友愛社)の理事長で十次の曾孫にあたる児嶋草次郎氏が、基調講演の最後で次のようにまとめました。

①石井十次のロマンは具現化したか

卒院した子どもたちが農家として自立し、そこに茶臼原孤児院の子どもを里子として預け支えていく理想郷づくりは、戦後の農地解放政策で小作人から農家として独立することになり、ロマンの50%は達成できたのではないかと。残りの50%は、みんな支え合い、人生を支え合う友愛の地域づくりであり、それは現在の友愛社が取り組んでいるところである。

②今日に受け継いでいる石井十次の思想とは

事業を再興してからは、十次の思想の根幹であるキリスト教の精神を、現在の友愛社は引き継いでいない。先人が築きあげようとした「生活文化」(=福祉文化)をどう引き継ぎ継承するかに取り組んでいる。

③これからの課題や展望

価値観のグローバル化と地域や生活文化の崩壊の中で、世界を含む社会情勢の影響を受けながらも、生活の場である地域の(生活)文化を大事にし、双方を融合した「グローバル」(グローバル+ローカル)の視点を持ち、実践していきたい。



第二部では、児嶋氏の他、岡山孤児院大阪分院から今日に至る石井記念愛染園(以下、愛染園)理事の小谷啓二氏と、日本福祉大学教授の永岡正己氏による鼎談(ていだん)をおこなった。永岡氏は、現在の貧困、格差、地域社会からの排除・孤立など、多様な社会福祉の課題が広がり、競争や市場原

理の導入も進む中で、だれもが平等に人権を守られ大切にされ、豊かに育ち暮らしていくために、社会福祉のあり方が根本的に問われていることを指摘。一人ひとりの子どもと向き合い痛みや苦しみ、悩みがなくなるよう共に取り組み、また、社会福祉を実現するための制度や政治、社会に目に向けた、石井十次という人物から、何を学び今日の社会福祉の課題にどう取り組むのかをキーワードに鼎談を行った。その一部を記載します。

愛染園のこれまでの経緯

小谷 現在の愛染園は医療事業、介護事業、児童福祉を中心とした隣保事業を中心に運営している。明治29年、十次の故郷、宮崎県の先輩で、当時の大阪府警察本部長、鈴木定直から都会(大阪)に2,000人を超える孤児がいることを知らされたのが、岡山孤児院大阪事業の始まりとされている。大阪の孤児の収容、大阪の収容児を田舎(岡山)で教育させる、出身者(岡山孤児院の卒業生)の就労先として大阪に活版部を移転させる等に取り組む、大阪に同情館、愛染橋保育園、夜学校を創設した。

そして、孤児救済から孤児を生み出さない施策の必要性、特に教育が必要との考えから、託児所、幼稚園、尋常小学校をつくったり、学校にいけない子や字の書けない人たちのために保育園のスペースを使って夜学校を開設した。

石井十次の思想から、 これからの福祉実践について

児嶋 今は社会的養護の問題を考えている。宮崎県では県南・県西に児童養護施設が少なく、その偏在化をなくす取り組みとして、友愛社では大規模ではなく、小規模の施設を新たに作る。また、里親支援の拠点として児童養護施設の機能を発揮していきたいし、地元の要保護児童対策地域協議会を通じた地域の支援にも取り組み

たい。ニーズを発見したら、躊躇せず飛び込んでいきたい。

小谷 今日の社会的孤立を含む排除や貧困の問題など、一機関・施設だけでは解決できない問題が多くある。子どもと貧困の連鎖で考えると、自己肯定感が低く、中退や退職の繰り返しという悪循環がある。子どもの人生をずっと見ていく、連続して支援していく仕組みや支援機関や地域等の連携が必要で、その実現に取り組んでいきたい。

永岡 子どもの尊厳や自律を深く捉えながら、里親の組織や地域、社会への働きかけを行なおうとした石井十次の思想を、今日の課題の中で発展させるということですね。基調講演の中で述べられた「自律」についてはどうか。

児嶋 子どもの貧困=経済的貧困と捉えられやすい。それもあるが、文化の貧困があると考えている。文化がうまく伝わらないと、貧困が引き継がれる。文化とは生活文化でもあり、あいさつをする等の様々な基本的生活習慣の習得である。それを習得するには、自分で自分を律することを身につけることでつないでいける。その支援を通して貧困の連鎖を断ち切っていきたいと考えている。

施設職員が 大事にしなければならないこと

小谷 問題が起こると目の前の問題にだけ対応してしまいがちだが、本人はもちろんのこと、家族や地域など、トータルに見ていく視点が必要だと考えている。

児嶋 私たち専門職は、制度の縦割りに洗脳されている。保育のことだけを考えていればいいという時代ではない。高齢者、障がい者のことも含め、横のつながりをもつことで救われることがある。当園の保育士には、子どもの散歩途中に出会う高齢者に思いを寄せ、孤独や認知症、虐待等がないか、園児との交流でその課題解決につながらないか考えることの大切さを伝えている。



図書紹介

『感情労働としての介護労働
介護サービス従事者の感情
コントロール技術と精神的支援の方法』

吉田 輝美 著 旬報社 2014年
「感情労働」の実態を調査し、介護労働者がストレスを乗り越え、やりがいをもって仕事を続けられる方法を提案する。



『ふたり老後もこれで幸せ
ふたりでひとつの暮らしです。』

辻川 覚志 著 水曜社 2014年
60歳以上の男女へのアンケートを参考に、老後をふたりで快適に暮らす方法について考える。



『現場で使える介護記録便利帖
〈書き方・文例集〉』

浅岡 雅子 著 翔泳社 2014年
「介護記録ってどう書くの?」と悩んでいる介護スタッフのために、介護する人・される人の気持ちに寄り添い、「伝わる記録」の書き方を基礎から解説。



DVD紹介

『演歌で健康たいそう!
エンカサイズ 第2巻』

テイチクエンタテインメント 55分
2013年
演歌・歌謡曲のヒット曲に合わせて運動できる体操DVD。曲目:「舟唄/八代亜紀」「月がとっても青いから/菅原都々子」「小樽のひとよ/鶴岡雅義と東京ロマンチカ」



『私たちの声が聴こえますか
社会福祉施設における人権』

人権教育啓発推進センター 30分
2007年
実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等を通して「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為にあたるのか」という事が自然に理解されるような構成になっている人権啓発DVD。



『だいたい3組』

東宝 118分 2013年
「五体不満足」の著者、乙武洋匡氏が自らの教師体験を基に手掛けた小説を映画化したヒューマン・ドラマ。新任教師を乙武氏が演じ、生徒と共に成長する教師たちの姿を映し出す。



図書・資料閲覧室からのお知らせ

職員研修向けの本・DVD紹介

新人職員さんの研修に使える本・DVDを紹介します!

『介護福祉スタッフの
マナー基本テキスト』

田中 千恵子 編
日本能率協会マネジメントセンター
介護現場・福祉現場で働く心がまえ、基本マナーを学べるテキスト。



『新人・若手職員のための仕事の
進め方研修(医療・介護従事者向け)』

日本士業協会 63分 2012年
報連相とタイムマネジメントに焦点をあて、仕事の進め方について講義したDVD。



★他にも、職員研修向けの本・DVDを所蔵しています。ぜひご利用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを約37,000点所蔵し、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

☎06-4392-8233





●元気うちから 介護予防 はじめよう!

大阪市では、介護が必要な状態になることをできる限り予防するための「介護予防教室」を実施しています。

運動機能や栄養状態、口腔機能などの生活機能を基本チェックリストでチェックし、生活機能の低下が心配される方に、介護予防教室への参加をおすすめしています。

基本チェックリストは、平成27年3月1日現在、70歳以上の方(要支援・要介護認定を受けている方を除く)に対し、誕生日ごとに送付しますので、ぜひ一度ご自身でチェックしてみてください。対象となられた方は、元気うちから介護予防教室に参加し、身体も気持ちもリフレッシュしましょう。

- ※参加費は無料です。
- ※教室に参加するときには、身体の状態を確認するための健診を受診していただきます(無料)。
- ※教室に通うことが困難な方には看護師等の専門職がご自宅にうかがい、個別の状態に合わせた生活機能向上の支援を行います。

送付対象者	基本チェックリスト送付時期
1~3月生まれの方	平成27年4月下旬
4~8月生まれの方	平成27年6月下旬
9~12月生まれの方	平成27年8月下旬



介護予防教室の様子

問合せ▶大阪市福祉局高齢福祉課
☎06-6208-9962 FAX06-6202-6964

●健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。2人に1人がなる病気、定期的に忘れず検診を受けましょう。大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別(方法)	実施場所	料金	対象年齢・受診頻度
胃がん検診 (胃部エックス線撮影)	保健福祉センター	500円	受診日現在40歳以上の大阪市民 (年度中1回)
	取扱医療機関	1,500円	
大腸がん検診 (免疫便潜血検査)	保健福祉センター	300円	
	取扱医療機関		
肺がん検診 (胸部エックス線撮影) (ハイリスク者には喀痰検査も)	保健福祉センター	無料 (喀痰細胞診検査400円)	
	取扱医療機関		
子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診)	取扱医療機関	400円	受診日現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民 (2年に1回)*2
乳がん検診 (視触診と超音波検査)	取扱医療機関	1,000円	受診日現在30歳代の女性市民 (年度中1回)
	保健福祉センター 取扱医療機関*1	1,500円	受診日現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民 (2年に1回)*2

- *1 視触診を実施する医療機関もあります。
- *2 平成27年度は受診対象の目安として、生まれ年が大正・昭和で偶数年の方をご案内しています。

問合せ▶大阪市健康局健康づくり課 ☎06-6208-9943

今月の 自助具 舌タッチヘッドギア(PC入力用)

資料提供 HUMAN 岡田英志さん

主な適応疾患・対象者▶

- 脳性麻痺などで不随運動があり両手が使えない方。

機能・特徴▶

- 頭に装着したヘッドギアから伸びた針金の先端にセンサーを取り付け、舌でタッチすることでパソコンを操作する。
- ヘッドギアは自由に曲がる柔らかいアルミの針金を使い、使用者の頭の形状に沿わせて成形するのでズレにくく、軽くできている。
- 舌タッチセンサー部も位置合わせが簡単に行える。

使い方▶

- ヘッドギアを頭に装着し、舌タッチセンサー部が口の前に来るように位置を合わせ、舌でタッチしてPCを操作する。



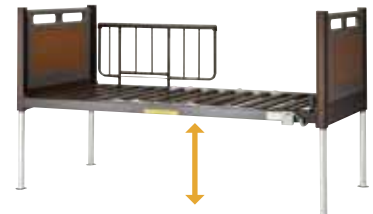
問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋
☎06-6940-4189 (月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

心地よく 眠るために

ベッド

昼は介護ベッド、夜はおふとん



●フロアーベッド

布団での就寝になれた方でも不安や戸惑いを感じにくいベッド最低値110mmを実現。高さ調整で転落事故や介護負担を軽減する超々低床電動介護ベッド。

木目を活かした美しいデザインは 洋室にもオススメ



●ケアレットフォルテ

様々な対策を盛り込みJIS認証を取得した信頼の安全性能と、伝統技法「矢張り加工」で木目を活かした美しいデザインの在宅介護ベッド。

本人の自立を促しながら 介護者の負担も軽減



●楽匠Z

背上げした際に足先が座面より下がることで、起き上がり時の体のずれや圧迫感を大幅に軽減。ベッドからの離床も容易になりその人らしい生活をサポート。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター2階

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894
http://kansil.jp

大阪市社会福祉研究 第38号

「研究論文」及び「実践報告」の募集について

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、大阪市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集しています。

下記の要領により期日までにご応募ください。

【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
 - ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
 - ③大阪市福祉局・こども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
 - ④その他大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者
- ※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究、共同執筆によるものも可とします。

【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生起する諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与えるものとします。
- ③原稿は、未公開(未発表)のものに限ります。

【原稿字数】

参考文献・図表等も含め、18,400字以内(パソコンで作成された原稿)とします。

【応募方法】

所定の応募用紙により、5月29日(金)までに大阪市社会福祉研修・情報センターへ論文テーマ等をお送りください。掲載候補となったものについて、あらためて「執筆依頼」をお送りします。原稿の締め切りは 8月21日(金)とし、提出論文から編集委員会にて掲載論文を選定します。

【その他】

「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告について、次のような観点から審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。なお、大学教員その他専門家との共同執筆による論文等は、選考の対象外となります。

- 審査項目 (1) 継承性 (2) 独自性(重点評価項目)
(3) 波及性(重点評価項目) (4) 客観性
(5) 協同性 (6) 構成力

●募集・執筆にかかる詳細については、下記までお問い合わせください●

大阪市社会福祉研修・情報センター (運営主体: 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会)

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎(06)4392-8201 📠(06)4392-8272

あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。

デザイン、
制作のことなら
気軽に
ご連絡ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

(広告)

福祉職員のための メンタルヘルス相談



毎週土曜日と、毎月第1・3水曜日に開設しています。

疲れやすい、やる気がでない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…など
福祉の仕事に携わる方の
ストレスから生じるさまざまな問題の
相談に応じます。



メンタルヘルス相談(予約制)

電話または来所(まずはお電話ください)

必要に応じて来所によるカウンセリングも行います。

☎06-4392-8639

大阪市社会福祉研修・情報センター

●住所:大阪市西成区出城2-5-20

●相談日時:毎週土曜日 午前9時30分～午後4時

(祝日も実施。但し年末年始は休み)

※予約に関する問い合わせは、平日(午前9時30分
～午後4時30分)も受付しています。

●相談員:臨床心理士 ●相談料:初期相談無料

※秘密厳守します。

メンタルヘルス相談では、ご本人からだけではなく、
周囲にいる同僚や上司の方からのご相談も受け付けています。

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
ただし、図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

●それぞれの開設日・時間

項目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎日	午前9時～午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月～土曜日	午前9時30分～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受け付けています。

① 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6カ月分掲載。

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

② 利用申込の受付は6カ月前からです。

利用日の6カ月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙でお申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申込は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

FAX06-4392-8206

※ファックスでの申し込み可能な期間は、利用日の5カ月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次の通りです。ご予約は利用日の5カ月前からです。

平成26年10月から

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通 / ご来所には【市バス】【地下鉄】【JR】をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大國町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

人権啓発キャッチコピー

(テーマ)犯罪被害者週間

あたたかく 見守ることも 思いやり

山野 大輔さん(平成25年度「人権啓発ポスターデザイン・キャッチコピー募集」事業 人権啓発キャッチコピーの部 優秀賞)の作品です。